



越谷市議会議員 福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 No.8 2013年春号

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120
TEL/FAX 048-978-3335
Mali info@akira-fukuda.com HP <http://akira-fukuda.com>

※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、印刷部分だけをインターネット専門業者に依頼することにより、最小限の費用にて作成しています。

入るを量りて出ずるを制す

3月議会・予算特別委員会から①

現状からの変革を求める

表題にある『入るを量りて出ずるを制す(=為す)』という言葉は収入を把握して、それに見合った支出を心がけるという、財政の心がまえとしての言葉です。家庭だったら給与の金額をしっかりと把握したうえで何を買い決めるという当たり前のことです。しかし現在の国の予算編成ではこのことが全く出来ていません。今、突然国が収入分だけの支出しか行わなかったらどうなるでしょうか？国は大混乱に陥ると思います。一方、越谷市は、比較的健全な財政運営を実施しています。しかしながら少子高齢化社会のなか下記のような状況が予想され、先々を考えると財政面からして好条件はほとんどありません。

- ・生産年齢人口の数は減っている ⇒**税収減**
- ・高齢者の人口増 ⇒**社会保障費を中心とした歳出増**
- ・公共施設等の更新が必要 ⇒**莫大なお金が必要**

(総務省提供の試算ソフトによると本市の将来予算不足率 1.88倍) そんな中、今の行政サービスを維持するには？多様なニーズに対応していくにはどうしたらいいのでしょうか？

このようなことを考えたときに、この度、予算特別委員会の質疑を通して執行部に伝えようとしたことは『現状からの変革』です。実際に実施中のサービスを止めることは難しいことです。でも税収減のなか、止めるサービスがなければ、サービスを維持するためには今あるサービスを変えていかなければなりません。それを可能にするのは、『徹底して考える』ことです。異なるやり方で同じ成果を出す方法はないか？サービスレベルを80%に落としたらどうなるのか？ある事業とある事業を統合(効率化)することができないか？などです。しかも大切なのは、**今までの枠にとらわれずに考えてみる**こと

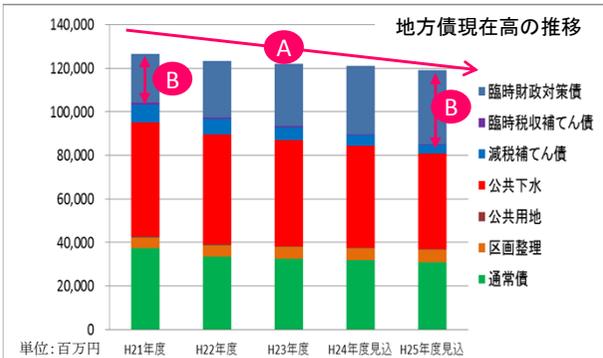
です。まさに今が、舵を切り始める時期です。以上のように私なりの意図をもって質疑させて頂きました。(私の質問は裏面へ)

尚、本予算は賛成多数により可決されました。私の主な賛成理由は次の①～③の通りです。

①中核市移行にむけた『保健所建設事業』、地域の方々から長年の要望であった『第4老人福祉センター建設事業』、そして待機児童解消にむけた『保育所建設事業』、などの市民サービス向上に向けた事業を積極的に行っていく計画であること。

②更には防災強化に向けた『消防・救急デジタル無線整備事業』、ネット上のいじめ問題対策の『ネットパトロール事業』など市民が安心してくださるまちづくりに向けても積極的に事業を展開していることが見受けられること。

③積極的に事業を展開する一方で、債務(一般会計、特別会計の合計)も確実に減らしていることです。(A) この借金削減の運営を継続していくことは必要不可欠であり、私も常にその点を指摘し続けています。一方、懸念材料としては臨時財政対策債※の増加(B)ですが、これは、国の動向や財政状況を確認しながらも、今後の推移を注視していきたいと思えます。



※臨時財政対策債 国から地方自治体に交付する地方交付税の不足を補うために特例として発行される地方債のこと。必要に応じて地方自治体が発行し、償還費用は全額国が負担する

『福田あきら』ただいま情報発信中

ほぼ毎日更新中!

②ブログ(日記)

<http://blog.akira-fukuda.com>

→越谷市議会議員としての日々の活動を日記形式にて公開中

①ホームページ <http://akira-fukuda.com>

③facebook(フェイスブック)コミュニティ

<http://www.facebook.com/> 左記より福田あきらを検索! 友達の申請をお願いします。より身近な活動を情報発信しています。

福田 あきら(37歳) プロフィール

- 【所属党派】 民主党・ネット・無所属の会
- 【特別委員会】 公共交通網整備推進特別委員会
- 【常任委員会】 教育・環境経済常任委員会
- 【その他役割】 越谷・松伏水道企業団議会議員

- 1975年 越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
- 1982年 清浄院幼稚園卒園
- 1988年 越谷市立桜井南小学校卒業
- 1991年 越谷市立越谷北中学校卒業
- 1994年 埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
- 1998年 法政大学法学部法律学科卒業
- 2000年 現:伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社
→IT企業のサラリーマンとして10年勤務
- 2011年 越谷市議会選挙に挑戦し当選
- 資格 基本情報技術者/宅地建物取引主任者等
- 家族 妻と長男、次男
- サッカー一選手としての経歴
 - ・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
 - ・水戸ホーリーホック【現リーグ2部】
 - ・全国社会人サッカー選手権大会優勝
 - ・福島/広島国民体育大会(国体)サッカー優勝
 - ・など三度の日本一を経験
 - ・現在、越谷市サッカー協会副会長を拝命

★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00 大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方へのみの対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。



3月議会・予算特別委員会から②

【福田質問】

①歳出額が歳入額より多いことに対する総括は？
 ②このまま増え続ける歳出の歯止めとして、私としては、やはりルールが必要だと思っている。海外の財政規律がうまくいっているスウェーデンの予算編成をみると、歳入の予想から、歳出の上限を決定してしまい、その範囲内で事業をさめるという手法を取り入れている。見方を変えると、一つの部署(事業)の歳出が上がれば、他の部署(事業)の歳出は削らなければならないという厳しい運営をしている。まさに『入るを量りて出ざるを制す』である。このように、歳入額から歳出額を決定し予算編成する考えは？

【執行部答弁(質問①②に対する要約)】

平成25年度一般会計の当初予算については、対前年度比1.7パーセント増という状況である。増額の要因については、生活保護扶助費の増加、さらには出羽地区センター・公民館、(仮称)第4老人福祉センター、(仮称)第三庁舎等の建設を予定していること等が考えられる。歳入については、個人市民税や利子割交付金、自動車取得税交付金等の国・県からの交付金が減額傾向にある。歳出については、第4次総合振興計画前期基本計画第二期実施計画に採択されたものを中心に予算計上をした。その結果として、財源不足を補うために財政調整基金を20億円取り崩して対応している。歳出の調整においては第二期実施計画で採択された事業をそのまま予算化するのではなく、さらに効率的・効果的な対応ができないか、また、緊急性、必要性を再度確認し、事務事業の選択を行っている。また、予算編成においては、平成16年度から配分予算制度を取り入れている。本市の特徴として、一般財源で配分しているの、特定財源として、国・県補助金などが獲得できれば、その分を他の事業に回すことが可能である。平成16年度からの累計で、一般会計で約3億1291万円の削減効果が得られている。さらに、予算の執行においてインセンティブ制度を活用しており、新たな節減の取組みや歳入の取組みがあった場合は、その取組みを評価し、自由に使えるお金を各部署局室に配分している。

<予算特別委員会における、その他の主な質問>

- 歳入
 - ・市民税の見込みの算出根拠について
 - ・人口減少社会を見越した財政の長期的展望と対策について
- 歳出
 - 【総務】
 - ・公用車購入台数に際しての適正台数の把握について
 - 【民生】
 - ・病後児保育事業の他市との共同経営について
 - ・保育所整備単価を縮減し、整備数を増やす考え方について
 - ・敬老祝いの金の今後の考え方について
 - 【農林水産】
 - ・集团的いちご観光事業について目指す規模と今後の戦略について
 - 【土木】
 - ・土手にある階段に、高齢者の声を反映し手すりをつける考え方について
 - ・内水対策事業の実施状況と総合治水マスタープラン作成について
 - 【消防】
 - ・消防団器具置場の整備について
 - 【教育】
 - ・ネットパトロール事業の背景と目指すべき効果と委託業者選択の方法について
 - 【国民健康保険特別会計】
 - ・レセプト点検事務の成果について
 - 【病院事業特別会計】
 - ・定数増に伴う医師等の確保の見込みと、収益増の方向性について



保健所完成予想図

注目の請願「生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書を国に提出することを求める件」

請願の趣旨は、下記3点です。

- ①生活保護基準の引き下げはしないこと
- ②生活保護申請の抑制につながる改悪はしないこと
- ③生活保護の老齢加算を復活させること

現状国会にて議論が尽くされていない今、安易な生活保護基準の引き下げには慎重とならざるを得ません。しかし、国の財政から考えると、更に手厚い保護にも賛同できません。慎重に考えた結果、主に次の理由により請願に賛成しました。尚議会では不採択となりました。しかし現状から何かしらの手を打つ必要はあると考えており、国会での更なる議論を期待します。

- ・議論が十分に尽くされていない
- ・他の制度にも影響が懸念されること
 - ⇒住民税の非課税限度額が下がり、今まで無税だった人に課税
 - ⇒非課税だと安くすんでいた負担が増える(医療費上限、保育料等)
- ・日本の生活保護利用率は諸外国と比較して極めて低いという事実
- ・生活保護費は憲法で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」を営むセーフティネットであり、本当に必要としている人がいること
- ・不正受給に必要以上に焦点が当たっているが、これは全体の0.4%であるという事実(不正受給は絶対に許されないし、根絶すべき)
- ・委員会にて請願者より趣旨③は意見書には必須でない旨の発言あり

議員研修会から 公共施設・インフラ老朽化を考える

笹子トンネル天井板崩落事故が起こり公共インフラの老朽化が社会的な大問題となっています。そこで「見過ごすのは罪～公共施設・インフラ老朽化が招く越谷の末路」という主題にて東洋大学教授 根本祐二氏よりお話を聞きました。ここで私が注目したのは、公共施設マネジメントにおける3階層マネジメントです。私なりに下図にまとめました。今後の公共施設の在り方のキーワードは、**広域化・多機能化・ソフト化**です。越谷市でも公共施設の老朽化には多額の費用がかかることが予想されていますが、今年度予算には今後の対応指針となる『**公共施設マネジメント白書作成事業**』が計上されています。完成は平成26年度になる予定ですが、本事業の取り組みには期待したいところです。

階層	範囲	対応方法(行政の取り組み)
1層	全域	広域化
	庁舎、病院、博物館、美術館 中央図書館、文化ホール、大型体育施設	他市と分担する 本市では5市1町での連携が考えられる
2層	校区	多機能化※
	学校、児童館、幼稚園、保育園 老人福祉施設、公民館、地区図書館	中核コミュニティ施設の中に各機能がテナントとして入る
3層	住区	ソフト化
	集会所、公営住宅	民間施設を利用する 必要に応じて費用を補助する

※多機能化 学校はコミュニティ単位の施設の中でもっとも規模が大きく、もっとも老朽化が進んでいる。更新の際に将来用途転換が容易に出来るよう多機能化することで周辺施設を取りこむ。多機能化しなければ廃校にせざるをえない場合でも学校を維持できる可能性が高まる 例)学校に公民館機能、老人福祉センター機能の度取りこんだ施設を作る

今後の展開

不動産の有効活用

実施

福田あきらの政策工程表

越谷市議会議員 福田あきら 政策実施のに向けた工程表(2013年3月20日時点)

政策	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	ゴール	進捗
【政策1】地域に根ざしたまちづくり						
①地元産業	賛9 賛12 賛9	賛9	賛9		都市型農業の進展	地域ファンド等の推進
②防災(災害対策)	賛6	賛12 賛6			都市型農業への若手参入モデルの促進	平成24年度予算要望実施
③地域医療	賛9	賛12 賛6			調査(一般質問等)とその改善の実施	新本庁舎建設における提言を
④自然環境	調3	調3			ご年配の方のスポーツ促進(特にクラブゴルフ)	実施していく
⑤イベント	賛9 賛12 賛9 賛3	賛9			治水対策の改善	今般
					河川の美化、公園等の芝生化など	治水対策の改善
					治水対策の改善をプラス(2013年)	治水対策の改善
					元気なまちづくり(地域イベントの活性化)(自治会の活性化)(公共交通網の拡充)	イベントへの参加と問題点の改善 自治会の活性化 公共交通網拡充へ前進
【政策2】「無駄の排除」と「選択と集中」						
財務状況から傾向や問題チェックと改善	決9 賛9 賛6 決9 賛9				継続したチェック改善	高齢化社会・少子化社会における財政規律の提案(暫)
【政策3】教育環境、子育て環境の整備						
子育て環境の整備(待機児童問題)	調1	調3			待機児童一桁	他市の状況調査実施済み
学校図書館の拡充	調6 終				その他の問題の指摘改善	越谷市独自の予算確保により一定の目的達成
【政策4】ご年配の方へのIT活用の推進						
Cityメールの推進/パソコン・携帯電話教室の開催					Cityメール普及活動	Cityメール普及活動中
【政策5】徹底した情報発信						
行政/議会/国政いろいろな情報をブログにて発信		576			年間250件発信	ほぼ毎日発信中
【その他】市民の皆様からのご意見募集						
その都度一常に活動・常にチャレンジ					すべての案件において誠実な対応	ご相談を頂いた件対応中
【報告】議会レポート報告						
議会レポート		議会ごとにレポート作成(7月、10月、1月、4月)			16回/4年	8回
議会報告会		半年に一回開催(10月と4月予定) 個人と有志議員との合同形式			8回/4年	個人1回 合同2回

尚、政策の詳細および行程表の詳細は
 HP <http://akira-fukuda.com>に記載しております。

記号説明 → 事前調査/準備作業/審議 → 実行

● 賛...一般質問(数字は実施月) 調...調査実施 予...予算特別委員会 決...決算特別委員会 数字...回数を表す 特...その他特別委員会 予要...予算要望